



高回さんの講演では雲龍夫妻の写真が初公開

今年は雲龍が横綱になり 150 年

水の郷くらぶ第 9 回しょうぶまつり

水の郷クラブは6月12日、今年で9回目になる「しょうぶまつり」を水の郷で催しました。今回の主人公は大和町出身で幕末に活躍した第 10 代横綱の雲龍久吉。雲龍が横綱の免許を拝領して、今年で 150 年を迎えたのを記念して企画されました。この日は、元雲龍の館の館長、高口日文さんと福岡女子学院大学講師の半田隆夫さんが、雲龍の生涯や郷土に残る相撲関係の歴史資料について講演をしました。

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

緑平さんの温かい人柄が伝わります

放浪の俳人山頭火を支えた 木村緑平展

自由律の俳人、種田山頭火を物心両面から支えた、市出身の俳人、木村緑平の資料展が、6月10日から12日にかけて大和公民館で開かれました。この展示会は、木村緑平顕彰会が毎年市内の公民館で開催しているもの。会場には俳句や写真などの100点以上の資料が所せましと展示され、来場者たちは興味深そうに目を通していました。顕彰会の柁島守代表は、「この展覧会をきっかけに、多くの人に木村緑平という人物を知ってほしい」と思いを語りました。



▲資料にじっくりと目を通す来場者たち

自慢のお店へようこそ

六合小学校「出店体験学習」

六合小学校は6月15日、中島の大徳商店街で出店体験学習を行いました。児童が協力して商品の仕入れから販売までを実践してコミュニケーション能力を高めることを目的に、6年生が6月、5年生が秋に毎年行っています。商品はジャガイモやトマトなどの野菜や手作りカレンダーなどを出品。6年生23人は、接客や呼び込みも上手にこなしました。今回の売り上げの一部は、宮城県仙台市にあり学校名が同じ読み方の市立東六郷小学校へ義援金として贈る予定です。



児童の上手な接客にお客も笑顔に

若さあふれる歌声が響きわたる

ジュニアコーラス Wing21 第 12 回定期演奏会

ジュニアコーラス Wing21 の第 12 回定期演奏会が6月11日、市民会館大ホールで行われました。現在 Wing21 は小学1年生から高校1年生までの25人で構成され、白秋祭水上パレードやウインターコンサートなどで、毎年、歌声を披露しています。今年は福岡県代表として11月に京都で行われる大会にも参加します。オープニング曲の後、リーダーの山田彩さんが「心をつにしていってうたを東日本に届けたい」と挨拶。第1部から第3部まで、美しいうたで会場を魅了しました。



津村真浩先生の指揮で全員の心をつに

2 日間にわたり中学生が熱戦

第 22 回柳川オープン中学生卓球選手権大会

市民体育館で6月11日と12日の2日間、柳川オープン中学生卓球選手権大会が開催されました。福岡や佐賀、熊本各県の中学校から男子90チーム、女子54チーム、総勢804人が参加。1日目は団体戦、2日目は個人戦が行われ、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮しようと、白熱した試合を繰り広げました。熱戦の結果、中学男子団体1部で三橋中学校と同団体3部で柳城中学校が、それぞれ3位入賞を果たしました。



各選手一步も引かない熱戦を繰り広げた

水も人も
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「煮る」

鍋の中まだかまだかと箸を入れ

砥上征夫(鷹ノ尾)

どこの店が旨いかより誰と食うかを大切にしている。気の合った仲間と囲む鍋は最大のご馳走である。これに空腹が加われば戦場と化す。まるで鍋から匂い立つ湯気やそれを囲む声さえ聞こえてきそう。ここはひとつ「鍋奉行」の指図に従おう。

流青

焼いて煮る人それぞれに過去がある
もう一度煮つめなおして人許す

梅島忠常
持永マサ子

(南浜武)
(新外町)

じつと見て煮る焼く蒸すを考える
大鍋に元氣煮込んで被災地へ

鶴岡定子
梅寄由美子

(東蒲池)
(七ツ家)

穂音響く町芋が煮えている
遠き日の母を偲んで豆を煮る

吉開綾子
古賀幸子

(筑紫町)
(蒲生)

生ごみの堆肥で育て初茄子煮
煮る味もいつしか似てる嫁姑

古賀治美
野村美智子

(横山町)
(南浜武)

うどん屋の出しとり後の昆布煮る
愚痴言わず芋がぐつぐつ煮えている

横山保
野片義博

(徳益)
(隅町)

里芋の煮つころがしに母の味
うす味の煮魚このむ年になり

原田アツ子
梅崎省二

(有明町)
(佃町)

ぼたもちを作って見よう豆を煮る
煮凝りの溶けて和解の時を知る

古賀麗子
黒田和代

(吉原)
(吉富町)

厨辺に匂い満ちて菜煮ゆる
乾杯をした遠い日が煮沸する

江口和子
金子弘子

(今古賀)
(京町)

クチゾコの煮汁で母に豆腐炊く
煮えたぎる五衛門風呂で目が覚めた

江口美幸
野口美恵子

(今古賀)
(上宮永町)

大根の煮付けがうまい年となり

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。8月の課題は「息」です。入選作品は8月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、7月15日(※必着 までにお送りください。

孤独とはわが息吐いて吸う真昼

流青